

## 「出題の意図」

選抜区分	令和2（2020）年度（選抜区分：後期日程） 外国語学部中国学科（科目名：小論文）
出題の意図 （評価のポイント）	<p>問一</p> <p>芥川賞にノミネートされて以来、一層注目される話題の作家温又柔氏が書き下ろした書籍（2019年5月刊行）からの出題である。日本移住をめぐる作家自らの様々な経験をもととする「ことば」「国」「自分」を問う文章を題材として、受験生の文章読解力と作文力を問うた。問題文は読者それぞれの「ニホン語」との出会いが、幸せや勇気、希望の力をもたらすことを主張している。</p> <p>問二</p> <p>異文化と対峙する際には、その理解と同様に如何に自己を知るかは、世代を問わず重要な問題である。問一の内容要約を基礎として、日本における移民政策や転居等による身体移動を背景とする、ことばとアイデンティティの結びつきに関する問題を問うた。</p>